古民家再生プロジェクト

～加島屋の再生と人々とのつながり～

既存建築物（加島屋）の調査

既存建築物　1階平面図　S=1:100

既存建築物　2階平面図　S=1:100

加島屋

私たちは、平成27年5月に加島屋へ初めて取材に行きました。加島屋は、昭和初期に建てられた建物です。かつては料亭だったらしく、その後は学生寮などとしても使われました。多度津の大通りに面していてとても繁盛していましたが、空き家になって20年以上も経過しています。平成16年の台風により、加島屋は雨漏りや、屋外などの大きな被害を受けました。それが原因で建物の調査が進んでいて傷みが激しく、資金不足のため改修は困難ということで保留となっていました。現在は屋根の修復を行うという話が進んでいるのですが、それ以上の修復は現段階ではやはり困難とのことです。ですが、少しずつ改修を進め、将来的には完全に修復されるかもしれません。この加島屋を中心に多度津町の情報、コミュニティーの場、またイベントなどの発信の中核としたいと考えています。

現地調査中の様子

おいでまい プロジェクトとは

今回、私たちは多度津町で設計事務所を構えている生田さんに協力していただき、お話を伺うことができました。生田さんは、平成26年4月に「おいでまいプロジェクト」を立ちあげ、古民家（日本家屋）の良さを伝え、魅力ある通りを築こうとしています。現在はその活動に賛同する方々が増えているそうです。古民家の良さは、今の時代では失われない[illegible]

[illegible]

[illegible]